

すずむしの里づくり事業

すずむしの里づくり実行委員会は「スズムシ」の繁殖・飼育に関する広報啓発活動を実施し、豊かな情報を養い、潤いのあるまちづくりを目指して活動中です。



「スズムシ配布会・交換会」開催

7月30日(土) 岩切小学校体育館  
8月 4日(木) 宮城野区役所  
8月 9日(火) (若林市民センター)  
時間:10~12時(3会場共通)  
※スズムシを入れる容器をお持ちください



お知らせ

地元学冊子販売中!

自分たちが住む地域を「歩いて・見て・聞いて・調べて」まちの物語を探す活動の成果は16冊の小冊子にまとめられ、区民の大切な財産になっています。小冊子の合本版「地元学」と「続・地元学」地域ごとの小冊子10冊を販売中です。

●小冊子…350円~500円 ●販売場所:宮城野区役所4階まちづくり推進課「地元学」…1,500円  
「続・地元学」…1,800円  
仙台市歴史民俗資料館



名義後援を行います

「みやぎの区民協議会」は、区民の手作りによるまちづくり活動等に対して名義後援を行います。名義後援を希望される団体は、依頼者(団体)名・連絡先・名義後援希望の事業名・事業実施日時を記載のうえ、対象となる事業内容のわかる書類を添付して事務局へお申込み下さい。

会員登録方法

当会の目的に賛同し、宮城野区を中心として活動する団体(政治団体・宗教団体・営利目的の団体を除く)は団体の規約・活動者名簿・活動記録(事業報告書・総会記録等)を添えて事務局へお申込み下さい。  
会員団体名はホームページに掲載しています。

ビジネス・マーケティング塾



宮城野区内の中学生が、経営の基本となる人・物・金の関係から利益・損益の検証法等を学び、露店における仕入れから販売・決算にいたる体験をする塾です。地元の皆様

のご協力をいただきながら、みやぎの・まつり

で出店します。  
本年度は8月7日(日)から10月30日(日)にかけて全5章の塾を開講予定です。



地元学地域連携事業

小学校・地域団体・市民センターによる地域連携事業として4年目を迎えます。今年は、曲がりネギで有名な岩切地区が初めて参加します。その他にも原町地区、燕沢・西山地区が活動を継続し、3年間のまとめを作成する予定となっています。地元学発祥の地として地域の愛着と誇りを伝承する「地元学」を継承し、まちづくりに活用していきます。



「みやぎのイネっと」

みやぎの区民協議会ホームページ

活きている声!

イベント・サークル・おすすめ情報を投稿できるサイトです。皆さんの身近な情報交換の場としてぜひご活用ください。

ホームページ <http://www.miyagino-e.net>

※情報はいずれも宮城野区内外を問わず、県内の情報に限ります。また、政治・宗教・差別を目的とするもの、公序良俗に反するものは除きます。

みやぎのイネっと 検索

みやぎの区民協議会事務局  
宮城野区役所まちづくり推進課

〒983-8601 仙台市宮城野区五輪2-12-35  
Tel 291-2111(内線6137-6138) Fax 291-2371



みやぎのイネっと通信

<http://www.miyagino-e.net>

年1回発行

ともにより良い地域をつくりましょう



みやぎの区民協議会 会長 松坂 卓夫

このたび、みやぎの区民協議会会長を仰せつかりました松坂卓夫でございます。

3月11日の震災で、宮城野区は増城の被害を受け、多くの方が家や家族を失いました。被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。特に、沿岸部の津波被害は重苦しく、地域の建て直しには膨大な時間とさまざまな力が必要と思われま

す。当協議会は、「区民一人ひとりの創意と参加により、やすらぎと希望をともに感じることのできる宮城野

区をつくること」を目的に設立され、さまざまなまちづくり活動を行ってまいりました。この震災を機に、気持ちを新たに、復興に向けて協議会が担うべき役割を考えていかなければならないとの思いを強めております。大変な時期に協議会をまとめあげていく役割を与えられたことは、身の引き締まる思いでございます。会員の皆様と一丸となって宮城野区を盛り上げてまいりますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

主催事業紹介

楽しい子育て応援します!

地域はっぴい子育てプロジェクト



出生率の高い宮城野区において、育児不安を軽減し楽しく子育てができるようにと、区民協議会子育て支援部会が活動しています。

地域でのつながりを深めるための交流イベント「親子あったかフェスタ」の開催や子育て情報の提供とママ育ちをねらいとした「ママらいふ手帳&マップ」の作成配布などに取り組んでいます。



復興への歩み

第23回みやぎの・まつり

「みやぎの・まつり」は、区内で活動するさまざまな方々やグループの皆さんの日ごろの活動の成果の発表と交流の場として、榎岡公園を会場に毎年10月第3日曜日に開催しています。

昨年は、人材育成事業で活動中のメンバーによる公園南側エントランスを使用したフラワーアレンジメント教室や和太鼓体験等を行うなど、参加型イベントをこれまで以上に増やしました。また、例年より高い場所からたくさんの餅をまいたりして来場者の皆さんに楽しんでいただきました。

今年はテーマを「私たちのまち宮城野 つなごう未来へ」として、震災からの復興を目的に、同じく復興をめざす南三陸町や気仙沼市等との交流コーナーや救援活動でお世話になった方への感謝等のメッセージを発表する等の復興企画を実行委員会にて検討しています。たくさんの方々のご来場をお待ちしております。



地域への貢献をたたえて

第11回みやぎの区民活動表彰

宮城野区内で継続的に活動し、宮城野区のまちづくりに多大な貢献があったと認められる方々に贈られる賞です。例年、宮城野区納涼名刺交換会の際において表彰していましたが、今年はみやぎの・まつりの場において表彰する予定です。

日時:10月16日(日)  
10:30~10:50頃  
会場:榎岡公園特設ステージ



## 主催事業紹介

### 災害に備えて

#### 第5回シンポジウム



今回の震災で私たち宮城野区民は今まで経験したことのない困難な状況下に置かれました。今まで取り組んできた防災対策がどのように効果を発揮したか

を検証するとともに、将来に向けて取り組まなければならないことを改めて検討する場としていきます。



日 時：9月14日(水) 14:00～15:30  
会 場：仙台サンプラザ1階ロース  
テーマ：「(仮)余震に備える」

#### 防災対策ワークショップ

地域の安全・安心のまちづくりのあり方や住民の備え等について検証するワークショップです。昨年は、総会后に、地図を用いて注意すべき場所や地域の特徴をつかむ災害回上訓練「DIG」を実施しました。



### 交流を深めましょう

#### 宮城野区納涼名刺交換会

区内の団体や企業の方が集まり、親交を深める場として開催しています。区内にお住まいが通動している方ならなたでも参加できます。様々な職業・活動をされている方との出会いの場・コミュニケーションの場として毎年、500名もの方々が賑わいます。

※今年度は中止となりました。



### 資料整理が進行中

#### 地元学推進事業

平成24年度中の開館を目指している(仮称)宮城野区文化センターの来館者に地元学の実績をPRすることを目的に、蓄積してきた資料の整理を進めています。



### ご縁を大切に

#### みやぎの大縁会



分野を超えた団体や人との交流からネットワークを築くためのきっかけづくりを目的として第2回「みやぎの大縁会」を実施しました。参加者は活動地域ごとに4つに分かれて、「まちづくり」や「子育て」などをテーマに、日ごろ感じていることや悩み等について話し合いました。参加者からは、今までとは違う視点を得たり、地域の魅力を高める事業内容や地域課題の解決法等のヒントをつかんだりすることができたという声が多く聞かれました。

今年度は2月頃に開催予定です。多くの皆様にご参加いただきたいと思います。



## 地域情報 安養寺下中野町内会の活動紹介

### 今年も開催 夏祭り・敬老会

現在の仙台港開港に伴い、旧中野地区から移転し、「テラポッド」がシンボルの「中野町内会」を結成してから42年になりました。

夏には、子供会育成会・老人クラブ・防災部等の協力をいただき、「夏祭り」を開催しております。昼間に「子供みこし」が町内を練り歩き、夜には全体で「盆踊り」を踊ります。



■子供夏祭り・盆踊り  
開催日：毎年7月末の土曜日  
場 所：安養寺下西公園  
時 間：子供みこし… 9:00～11:00  
盆 踊 り…18:00～20:30



秋には「敬老会」を開催。77歳以上の方をご招待し、昨年は唱・落語などの催しで楽しんでいただきました。

子供たちには郷土の文化に親しんでもらい、地域全体では老若男女の融和を図ることを目的として毎年開催しております。

今年度は「東日本大震災義援金」の募金箱などを準備し、役員一同例年以上に多くの参加を願っています。

■敬老会  
開催日：毎年 敬老の日  
場 所：中野集会所  
時 間：9:30～12:00  
対象者：77歳以上の方

## 地域情報 原町地区の活動紹介

### 楽しい行事で地域を活性化

原町地区は13町内会で構成されています。

毎年4月に全町内会挙げて「春まつり」を行います。各町内会のみこしと子供会のみこしを入れると約15台で、原町本通りを約1,000人の住民とともに練り歩き、一日中祭り気分になります。

七夕には手作りの竹飾が通りを彩り、その下で定禅寺通りジャズフェスティバルの小型版「原町ON祭楽」で楽しめます。

また、原町小学校の生徒と町の長老を先生にして「地元学」を開校し、原町の由来や歴史を学び、昔からの神社仏閣を見学します。昔遊びでは、こま、刺玉、ビー玉、メンコ、おはじき、お手玉、竹とんぼ、たこ等で昔をしのび、和気あいあいと遊びます。

かつてドブ川といわれた梅田川も、二十数年来毎月清掃を行い、今では魚のすむ川に変わり、鮭も途中まで上ってきています。8月には、魚を放流し水に親しむ「梅田川フェスティバル」を800人くらいの子供たちや親子で親しんでいます。

